

学校給食における食物アレルギーの対応について

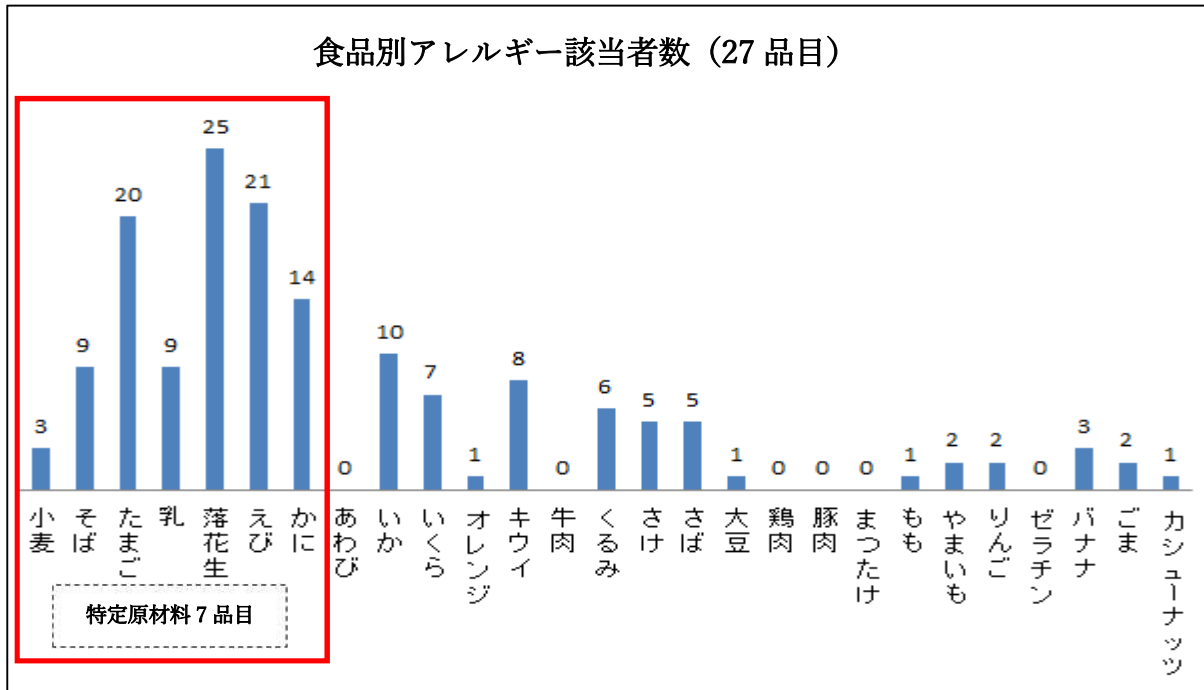
教育委員会

1 本市の状況

(1) 食物アレルギーを有する児童生徒数

小学校61人 中学校23人 計84人（令和元年5月31日現在）

(2) 食品別アレルギー該当者数（27品目）※複数のアレルギーを持つ者もいる



特定原材料 表示義務（7品目）	小麦・そば・卵・乳・落花生・えび・かに
特定原材料に準ずるもの 推奨表示（20品目）	あわび・いか・いくら・オレンジ・キウイフルーツ・牛肉・くるみ・さけ・さば・大豆・鶏肉・豚肉・まつたけ・もも・やまいも・りんご・ゼラチン・バナナ・ごま・カシューナッツ

特定原材料（表示義務7品目）とは

食物アレルギー症状を引き起こすことが明らかになった食品のうち、特に発症数、重篤度から勘案して表示する必要性の高いものを食品表示基準において特定原材料として定め、表示を義務付けている食品（上記の7品目）

特定原材料に準ずるもの（推奨表示20品目）とは

食物アレルギー症状を引き起こすことが明らかになった食品のうち、症例数や重篤な症状を呈する者の数が継続して相当数みられるが、特定原材料に比べると少ないものを特定原材料に準ずるものとして、可能な限り表示をするように努めることとされている食品（上記の20品目）

2 食物アレルギー対応方針

- (1) 食物アレルギー対応は命に関わるため安全を最優先に考え、アレルギーを有する児童生徒も安心して給食の時間を楽しめること。
- (2) 保護者の負担や学校現場・調理場での作業が複雑にならないこと。
- (3) 「落花生」・「そば」については、少量でも重篤症状を引き起こす可能性が高いため、給食では使用しない。
- (4) 小麦は粉が舞うことや調味料に多く含まれることから対応が困難なため、アレルギー対応から除く。

3 検討結果

対応方針を念頭に、特定原材料7品目の中から、該当者の多いえび、卵、かに、乳の4品目を含まないアレルギー代替食を提供する。

4 4品目（えび・卵・かに・乳）該当者数

小学校21人 中学校1人 計22人

※なお、「落花生」・「そば」を給食で使用しないことによりアレルギー対応が可能となる人数を含めると、小学校32人、中学校4人、計36人となる。

5 提供時期・提供方法

令和3年1月から、代替食を希望される児童生徒に安全かつ確実に提供するため、個人カードを付けた専用のランチボックスを使用する。

6 審議の経過

(1) 君津市学校給食食物アレルギー対応検討委員会

令和元年 7月30日 食物アレルギー対応の現状と今後の取り組みについて

10月10日 食物アレルギー対応品目・対応時期について

令和2年 1月14日 弁当対応の単品持参について

(2) 君津市学校給食共同調理場運営委員会

令和2年 4月17日 資料に関する、各委員からの質問及び意見聴取

4月27日 委員の質問及び意見に対する回答を送付・採決

5月 7日 賛成多数により可決

※新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止のため、すべて書面開催とした。

7 学校及び保護者説明

7月15日・16日	学校説明
7月31日(金)	保護者説明会
8月1日(土)	
8月5日(水)	
8月6日(木)	
9月	代替食を希望する保護者と面談 (保護者・管理職・養護教諭・栄養士の4者面談)
11月～12月	該当校とのシミュレーションを実施
令和3年1月	代替食提供開始
令和3年1月以降	アレルギー検討委員会 進捗状況説明等